

長期学校改築計画に関する 今後の進め方について

小諸市内の小学校の大半は、建築後 40 年以上が経過しており、老朽化が進んでいます。しかし、短期間のうちにすべての学校を建て替えることは難しいため、長期的な学校改築計画の策定が必要になっています。

これまで、5 月から 7 月にかけて 6 会場での懇談会を開催し「小諸市長期学校改築計画検討会」から提出された提言書について説明しました。また、9 月 30 日には、市民懇話会を開催し、今後の進め方について参加者と意見交換を行いました。

これらを踏まえ、教育委員会では下記のとおり学校改築・再編基本方針を決定しました。

今後は、この基本方針に基づき、検討を進めていきます。

[学校改築・再編基本方針]

【基本的な考え方】

未来に生きる小諸市の子どもたちのために、学校教育の変化や多様な子どもの教育的ニーズに対応できる学習環境を整えることを最大の目的とする。

➡個別具体案の検討においては、地域防災や地域・卒業生の思い等を考慮しながらも「小諸市で育つ子どもたちにとって『より望ましい学校の姿』はどうあるべきか」という視点を最優先として議論を進めます。

【望ましい小学校の規模】

**「1 学級の児童数が 20 ～ 30 人前後」で
「1 学年の学級数が少なくとも 2 ～ 3 学級」とする。**

この望ましい「小学校規模」と今後の児童数の推計値を踏まえ、小諸市の子どもたちにとって「望ましい学校の姿」の実現のために、市内小学校の再編が必要な状況であることを明確化します。

【小中学校の配置及び校区】

- ・区の中で学校が複数校に分かれることのないよう、学校再編とあわせて通学区の見直しも検討します。
- ・小中一貫教育制度のあり方について検討します。
- ・学校再編にあたっては通学路の安全確保や遠距離通学に配慮します。